

# 2019年度 秋田県公立高校入試 分析 と その対策

入試問題を用意し、照らし合わせて見てください

※参考 [美の国あきた-県教委HP](#)

KATEKYO 学院  
大曲駅前校

## 【国語】

### 1 「聞くこと」に関する検査

- 今年の難易度は例年並み
- メモを的確にとることが大事。特にテーマ、意見の内容、その意見の根拠・理由、複数意見の共通点と相違点、全体の流れ等に注意する。
- 言語能力よりも、論理的思考力が問われている！

### 2 物語文

- 今年の難易度はやや易
- 小説では自分以外の第三者の視点をもって読むことが大事。  
その上で、登場人物の“心の動き”をその理由とともに辿って整理する。
- 本文から単純に抜き出す問題は確実に得点したい。
- 設問4のような、本文の該当箇所を、設問の条件に合致するように自分の言葉でまとめる問題は差がつきやすい。  
→文字情報を、自分が考えた言葉に置き換えることが読解の土台部分なので、日常の読書から心掛けたい。
- 語彙の問題も毎年必ず出るので、活字情報に多く触れ、積極的に辞書を引くことを習慣化したい。

### 3 説明文

- 設問2と設問5の2は差がつきやすい問題。  
→自分の言葉で要約するトレーニングが有効。表現を推敲する過程で独特すぎる表現、意味不明な表現、非論理的な表現が洗練される。答案の推敲・添削は、個別指導の特長を発揮できる場面の一つ。
- 説明文の読解では、①段落ごとに要点を集約する②段落相互の関係をつかむ（＝全体構造の把握）が要。  
→小論文ではなく、長い論説の一部を抜粋したものであるため、意見・主張というよりは独自の視点からの分析という性質を持つので“全体構造の把握”という視点が大事。  
→論理の三大要素①対比（ $A \Leftrightarrow B$ ）②言い換え（ $A = B$ ）③因果関係・理由（ $A \rightarrow B$ ,  $A \leftarrow B$ ）を道具として使い、段落の要約と全体構造の把握を行う。

### 4 語彙と文法

- 難易度は例年並み。設問4の活用形の質問が目新しい。
- 11個の品詞を押さえることと、特に活用のある用言と助動詞は活用とともに押さえない。

## 5 古典

- 和歌の解釈というあまりなじみのない問題であるが、解説文があり、きちんと情報を拾うことができれば、容易に解答できる問題ばかりという印象。
- 文法や正確な解釈よりも、古典に慣れ親しませるというのが、文部科学省の基本方針のようなので、今後も解説文付きの出題が多くなるかもしれない。本文の丁寧な音読も依然として重要。

## 6 作文

- 変化が著しい現代を象徴する出題。
- 「文章＝思考の結晶」なので、普段からどれくらい物事を考えているかが土台となる。  
→自分を取り巻く状況や、自分の将来・未来像など。
- 思考量を増やさずに、表現技法だけを磨くことは不毛。
- 文章表現や論理的な整理は、作文の推敲過程を通じて上達するので、個別指導の腕の見せどころ。10通程度、答案添削すれば、文章の型が見え、表現も洗練されてくる。

# 【数 学】

## 1 小問集合

- (9)の有効数字の問題が印象的。
- (10)は2乗した後、具体例を挙げて、具体的にゴリゴリ考えることができたかどうか。
- (11)は完成図から逆算して、 $60^\circ$ が必要で、正三角形を作るべきことに気づいたかどうか。作図としては差がつきやすい問題。
- (15)は $\triangle ACD$ を底面として、底面の面積比から立体の体積比を導くことに気付いたかどうか。面積比は相似比を利用。
- 総じて難易度は易。

## 2 関数と方程式

- (3)は規則性の問題。過去の秋田県の入試問題と比較して、難易度は決して高くない。①から②は誘導となっている。
- 規則性の問題は、簡単な表を作成し、番目と数字の関係性の特徴を読み取ることができるとどうか。パターン性が顕著な分野なので、類似問題を多く解く中で、①n番目の2乗、②同じ数ずつ増える③番目と数字のズレなど、典型的なパターンを知ることが重要。

## 3 作図と証明

- (1)③ウの選択肢のACとQRが必ずしも平行とはならない、という判断の理由付けが少し難しいかもしれない。
- (2)の問題は差がつきやすい。点Dから線分ABに垂線を下すことに気付くことができたかどうか。

## 4 確率と資料の整理

- 「中央値」「階級」といった基礎用語の正確な理解が前提。  
→数学においても基礎用語の正確な理解が求められている。

## 5 動点の問題（ⅠかⅡ選択）

<Ⅰ>

- (3)立体図から、問題を解くのに必要な平面を切り取り、“最短の長さ”という条件から“直線”を引いて考えることができたかどうか。差がつきやすい問題。

<Ⅱ>

- 1と同様、最短距離を直線で考える発想が大事（加えて線対称）。
- (2)(3)ともに四角形ABCDが正方形であることを利用する。このことに気付くことができなければ、解答は難しかったと思われる。

# 【英語】

## 1リスニング

- 難易度は例年並み。
- 数字や固有名詞等に注意して、的確なメモを残す。
- 質問文から問われている内容を正確に把握する。
- 質問文の①時制と②使われている動詞（bè 動詞 or 一般動詞）をチェックし、同じ型で答える！
- “英語の実用化” という傾向が顕著なので、今後はさらに分量や配点が増加する可能性がある。→音読の重要性がさらにアップ！

## 2単語、語形変化、空所補充

- 太字の超重要単語、基本例文をしっかり理解・記憶していれば容易にとけたのではないか。
- 語形変化は苦手にする生徒さんが多いので、文法的なパターンを認識してもらうまで徹底して説明する。

## 3英問英答

- リスニング同様、質問文の内容のみならず、“文章の型” を押さえる。同じ型（動詞と時制）で答える意識の徹底！
- “英語の実用化” の傾向から、コミュニケーション重視、さらに自己表現力の重要性がますます高まっている。英作文の比重が高まることが予想されるので、普段から自分自身のことを簡単な単語で表現することを心掛けたい。





## 4図表の絡む会話文

- 問題となっている空所付近に解答の根拠・ヒントが集中していたため、問題の難易度としてはやや易。
- ポスターと会話内容を関係させながら読み取る。

## 5長文読解

- 難易度は例年並み。問題文からヒントを拾うのが容易で解きやすかったと思われる。
- (5)(6)が印象的な問題。(5)は文の並べ替え。(6)は選択完答問題で5問から3問選択。難易度はいずれも高くない。

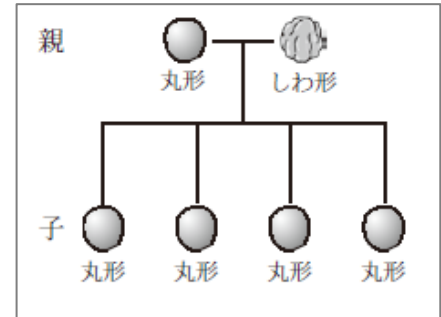
〈ポスター〉

Recycling Information		Aozora City
Recyclable Resources	Day	
Newspapers 	Monday (9:00 a.m.)	
Cans 	Tuesday (9:00 a.m.)	
Plastic Bottles  PET	{ (8:00 a.m.)	
Other Plastics 	Friday (8:00 a.m.)	

# 【理 科】

## 1 遺伝

- (1)はやや細かい知識か。但しエンドウは典型例！
- (2)もやや答えにくい用語か。
- (6)はド典型の問題！



## 2 地震

- (5)①常識的な用語ではあるが、少し答えにくかったかもしれない。

## 3 天気、動物、仕事等

- 大問3は全体的に問題文の分量が多く、読解力がないと実力を発揮できない。こうした傾向は今後も続いていくと思われる！
- (1)は冬に降水量が多い秋田県らしい問題！
- (2)では大問1の植物と同様、動物も分類が問われている。
- (3)では与えられた表から結局仕事の大きさは変わらないということに気付いたかどうか。知識ではなく現場思考が問われているので差がつきやすい問題かと思われる。

## 4 物質の溶解度

- (2)②③は溶解度についての正確な理解だけでなく、表を読み取る過程で論理的思考、その思考過程を簡潔に言語化する力が要求されている。  
→差がつきやすい問題といえる。

## 5 電気

- (1)②は冒頭の説明のブレーカーが落ちた時の情報を見落とさない！
- (2)③は並列回路の回路全体の抵抗の特徴を把握していれば容易（各抵抗の逆数の和が回路全体の抵抗の逆数）。知識がなくても各抵抗の電流の和を求めて、電源の電圧（3V）を合計した電流で割ればよい。
- (3)はブレーカーの存在意義を問う、日常に関連した良問！

(3) 愛さんは、家の中の電気配線にブレーカーが必要な理由について次のように考えた。愛さんの考えが正しくなるように、Xには当てはまる内容を「電流」という語句を用いて、Yには当てはまる語句をそれぞれ書きなさい。

家の中の電気配線は並列回路になっていて、消費電力が大きくなるほど、回路全体では、 X  なり、発熱量が（ Y ）なるので危険だからです。



# 【社 会】

## 1 歴史

- (1)「富本銭」は答えることができなかつた人が多かつた と思われる。
- (6)は難問！財政改革と貨幣改鑄から徳川綱吉を連想できた人はかなりすくなかつたと思われる。また貨幣の質と物価の関係をきちんと理解していた人もかなり少なくなつたと思われる。
- (8)も差がつきやすい問題。領事裁判権の撤廃＝陸奥宗光（日清戦争前）、関税自主権の回復＝小村寿太郎（日露戦争後）を正確に覚えていたかどうか。
- (9)も差がつきやすい問題。パリ講和会議からベルサイユ条約を連想できたかどうか。
- (10)①も差がつきやすい問題。日韓基本条約＝1965年、日中共同声明＝1972年。近現代史は特に戦争や条約の年号はできるだけ覚えたい！
- 消費税→買い物で受け取る小銭が増える→1円硬貨の必要性、という連想ができたかどうか。生まれたときにはすでに消費税が導入されていた今の中学生にはイメージしにくいかもしれない。

## 2 世界地理

- (1)時差も苦手にする人が多い項目。必ず日付変更線を基準とする！
- (3)まずは表のア＝ヨーロッパ州、イ＝アジア州、ウ＝アフリカ州を特定する。中国・インドで人口が多いことと、西アジアで原油産出量が多いこと等を想起。
- (5)②は記述問題として難易度は易。

## 3 日本地理

- (4)表の特徴から、ア＝青森 イ＝大分 ウ＝北海道 エ＝秋田 オ＝鹿児島を特定。北海道はコメのみならず畜産も盛ん！差がつきやすい問題。
- (5)“一戸当たり”という文言を解答に入れることができたかどうか。
- (6)大分県の説明をどの程度にするか微妙なところ。解答の中心は北海道の特徴！

## 4 公民

- (1)負担額と給付額の違い→所得の格差を調整という思考ができたかどうか。差がつきやすい問題といえる。
- (8)“国際法”という用語は答えにくかつたと思われる。“条約”という誤答が多かつたと思われる。
- (10)日本が“ODAの支出額が先進国の中で多い”という指摘をどこまでできたか。世界で200程度ある国の中で、日本は4位と評価できたかどうか。

